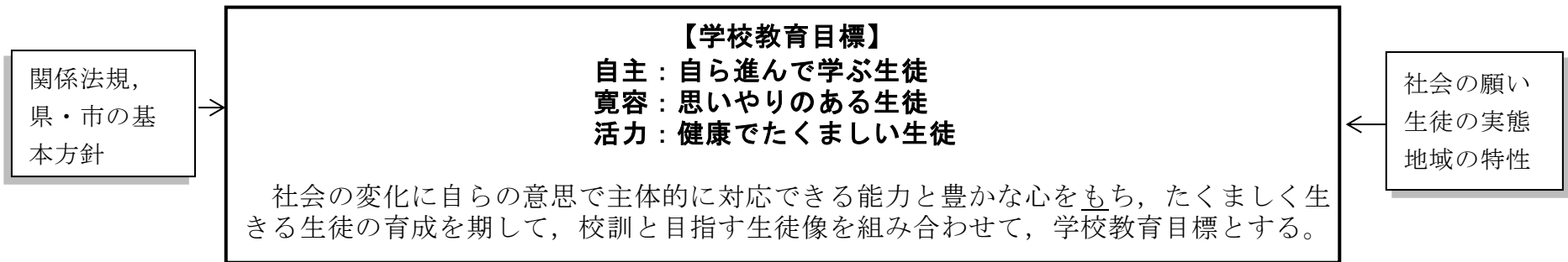


令和3年度 南方中学校 学校教育目標・学校経営基本方針



【目指す生徒像】

自ら進んで学ぶ生徒	思いやりのある生徒	健康でたくましい生徒
<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を見出し、取り組む生徒 既習事項や文献の参照、ICT活用や話し合い等で、学びを深めていく生徒 見通しをもちながら学び、将来を見つめる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> 心のこもったあいさつができる生徒 相手の痛みが分かり、気配りや感謝のできる生徒 多様性を理解し、お互いを尊重する生徒 	<ul style="list-style-type: none"> 困難に耐え、粘り強く努力する生徒 進んで身体を鍛え、心身ともに健康な生徒 健康や安全を心掛け、けじめのある生活を送る生徒

【目指す教師像】

<p style="text-align: center;">「最大の教育環境は教師である」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康で健全な生活を送ることができる教師 ②環境の変化に対応し、自らの学びの継続により生徒の学びを引き出せる教師 ③チーム南中の一員として、共に汗を流す教師 	<p style="text-align: center;">「生徒・教師の笑顔が輝く学校」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①どの生徒にとっても落ち着ける学校 ②学習や生活のルールの整った学校 ③お互い励まし合い、成長できる学校 ④きれいで事故のない学校
---	---

【目指す学校像】

【基本方針と今年度の重点】

知 基礎学力の定着	徳 豊かな心の育成	体 健康・体力の維持向上
<p>生徒の自主的な学びにつながる授業づくりと、「分かった!」「できた!」の実感を目指した授業実践を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 登米市学習スタンダード、南方中学校学習スタンダードを活用した授業実践 ② RPDCAサイクルを大切に授業づくり <ul style="list-style-type: none"> ・諸検査やテスト、観察等により生徒の実態把握及び分析を実施し、それらに基づいた対応策を講ずる。 ③ 1時間1時間を大切に授業実践とそのための環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・授業を含む様々な場面においてICTを積極的に活用する。 ④ 言語活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・各教科、領域の振り返り等において既習の知識・技能を活用したレポート作成や論述を積極的に行う。 ⑤ 幼・小・中と連携したノーメディアタイムの実践と家庭学習への支援 ⑥ 各種検定の積極的な実施（英検、漢検、数検等） 	<p>「特別の教科 道徳」を中心に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めさせる。</p> <p>＜重点項目＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○希望と勇氣、克己と強い意志 ○思いやり、感謝 ○よりよい学校生活、集団生活の充実 <ul style="list-style-type: none"> ① あいさつ運動の継続と推進 ② 情報モラルの指導 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域と連携し、警察や企業の手も借りて充実した指導を行う。 ③ 多様性を尊重し協働する態度の育成及びインクルーシブ教育の推進 ④ 体験活動の充実とそれを生かす道徳の授業 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児等と触れあう体験、福祉施設への訪問、生命の尊さを感じる体験、集団宿泊活動、職場体験活動、職業人等の講話、奉仕体験活動等 ⑤ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑥ 生徒と共に行う清掃指導 	<p>健康寿命の延伸を見据え、基本的な生活習慣の定着と生涯体育の基礎づくりに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 基本的な生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・南方中学校区の幼・小・中及び家庭、地域と連携し、規則正しい生活習慣を確立させる。 ② 感染症予防の徹底と安心・安全な学校生活への取組 ③ 継続的な体力づくり <ul style="list-style-type: none"> ・保健体育、部活動を通じ、家庭でも運動する習慣づくりを目指す。 ・冬季一斉部活動により体力の維持・向上を図る。 ・部活動等において外部指導者と積極的に連携する。 ④ 食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食等を活用した食に関する指導及び関連する教科等における指導を行う。 ・肥満傾向、食物アレルギーや疾病治療などに関する指導や個別的な相談活動を充実させる。

